

第 34 回全国高等専門学校

プログラミングコンテスト実行委員会

委員長 長谷川 章

(福井工業高等専門学校長)

特定非営利活動法人

高専プロコン交流育成協会 (NAPROCK)

理事長 桑原 裕史

**第 34 回全国高等専門学校プログラミングコンテスト  
大会協賛(産学連携協賛・特別協賛・一般協賛・広告)のお願い**

コロナ禍もやっと落ち着きを見せておりますが、貴社におかれましてはご苦勞はいかほどかと拝察致します。このような状況下、例年と変わらず高等専門学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）は、我が国の IT 産業に優秀な人材を供給することを目的として、平成 2 年に京都市で第 1 回大会を開催して以来、全国各地の高専が主幹校となり開催しております。

第 15 回大会から国際化を進め、現在では海外大学チームを招いて国際大会を同時開催するなど、国際的な拡がり実績をあげており、IT 業界からも高く評価されています。高専プロコンが国内を代表するプログラミングコンテストとして大きく発展することができましたのは、IT 関係企業様等から多大なご支援をいただいた結果であり、ご協賛いただきました企業様に厚く御礼申し上げます。

高専プロコンをさらに発展させ、優秀な IT 人材を育成することを目標に、第 34 回大会は福井県越前市にて開催すべく準備を進めております。つきましては高専プロコンの趣旨にご賛同いただき、是非ともご支援・ご協賛賜りますようお願い申し上げます。

公式サイトでも情報提供しております。合わせてご覧ください。

# 協賛のお申し込み要項

## 1. 協賛の種類

協賛金の単位は、 1口 50万円とさせていただきます。

- (1) 産学連携協賛 4口 200万円 以上
- (2) 特別協賛 2口 100万円 以上
- (3) 一般協賛 1口 50万円
- (4) 大会パンフレット（作品集）への広告のみの協賛
  - 広告協賛A 1ページ 10万円
  - 広告協賛B 1/2ページ 5万円
  - 広告協賛C 1/4ページ 3万円

## 2. 協賛企業様へのご対応

### (1) 産学連携協賛

- 特別協賛のご対応に加え、御社企業賞を表彰式で授与することができます。  
(審査に関しては企業賞のみを審査し、予選や本選の審査をしないという選択もできます。)

### (2) 特別協賛

一般協賛のご対応に加え、次の対応をさせていただきます。

- 複数年、協賛をご継続いただいた場合、全国高専に配信されるプロコンシンポジウムでご講演いただくことができます。(貢献度を加味した輪番となります)
- 大会パンフレット（作品集）の御社広告を1ページ増（合計2ページ、見開きでの掲載を保証）とさせていただきます。
- 本選会場にA0サイズ（予定）のポスターが1枚掲示できるスペースのパネルやテーブルを用意させていただきます、貴社ポスターの掲示や製品等を展示することができます。
- 予選審査をしていただくことができます。予選審査は学生の作品の内容を示した応募書類のコピーをお送り(pdf ファイルを配信)し、審査していただきます。審査は権利であり義務ではありません。恐縮ですが謝金はありません。
- 本選の審査委員を派遣していただき、学生から直接説明を受け審査していただくことができます。審査は権利であり義務ではありません。予選審査をしていただいた場合、本選では原則、予選と同じ部門での審査となりますが、本選だけの審査の場合は、プロコン実行委員会でバランスを考慮し部門を決めさせていただきます。恐縮ですが謝金はありません。
- 長年特別協賛いただいている場合（5年連続特別協賛又は10年で700万以上の御協賛金額）には、

御社「企業賞」を表彰式で授与することができます。御社審査員により、原則審査した部門より独自に選定し、盾・副賞を授与することができます。盾はご用意させていただきます。（企業賞審査のみをご担当いただくこともできます。）

### (3) 一般協賛

- 大会パンフレット（作品集）の表紙裏頁に協賛企業として御社名を明示させていただきます。
- 大会パンフレットに1ページの御社広告を掲載させていただきます。
- プロコンホームページ上に、御社ホームページトップをリンクさせていただきます。
- 御社会社案内や製品紹介等パンフ・ノベルティグッズ、副賞商品等の提供をお受けさせていただきます。参加学生全員への配布も可能です。

## 3. 協賛申込方法

協賛申込サイトより、お申し込みください。

<https://procon-sp.net/sponsor34/>

## 4. 協賛に関するお問い合わせ先

<全国高専プロコン実行委員会 財務担当>

E-mail : [sponsor@procon.gr.jp](mailto:sponsor@procon.gr.jp)

東京工業高等専門学校 情報工学科 松林 勝志, Tel : 042-668-5170 (直通)

長野工業高等専門学校 工学科 鈴木 宏, Tel : 026-295-7075 (直通)

高専プロコン協賛のご対応一覧

協賛の種類	4口（200万円）※1 産学連携協賛	2口（100万円）※1 特別協賛	1口（50万円）※1 一般協賛
大会パンフレット（作品集）の表紙裏に御社名を表示	○	○	○
大会パンフレット（作品集）に広告掲載	見開き2ページ	見開き2ページ	1ページ
プロコン公式サイトに御社HPへのリンク・バナー掲載	○	○	○
参加学生への会社案内、ノベルティグッズ、副賞等の提供※2	○	○	○
本選会場に企業ブースの設置※2	○	○	
バーチャルイベント会場に企業ブースを設置※3	○	○※7	
予選審査権※4	○	○※7	
本選審査権※4	○	○※7	
企業賞審査・授与権※5	○	○※8	
プロコンシンポジウムでの講演（全国配信）※6	○		

※1 34回大会は現地開催の方向であるため、例年通りの協賛金額となっています。

※2 現地開催のため、例年通り実施予定です。

※3 バーチャルイベントを実施するか未定ですが、実施の場合、会場の企業ブースには、30秒ほどの動画・画像・御社等へのリンクが設置可能です。設置希望は、別途確認させていただきます。

※4 審査は権利で義務ではありません。本選のみや企業賞だけ審査という選択も可能です。予選をして頂いた場合は、本選も同じ部門の審査をして頂くことができます。

※5 楯はご用意いたしますが、副賞はご準備ください。

※6 複数年産学連携協賛を続けていただいた場合（詳細はお問い合わせください）

※7 バーチャルイベントを実施する場合、会場での企業ブースにつきましても数に限りがございます。予選・本選の審査権、企業賞につきましても対応可能数に限度がございます。お申し込み多数の場合は、これまでの高専プロコンへのご協賛の貢献度に応じて、調整させて頂く場合がございますのであらかじめご理解くださいますようお願いいたします。

※8 企業賞は、1年200万、5年500万、10年700万の協賛を頂いた場合に授与権が発生します。

## 6. 協賛お申込時期とご対応表, 協賛お申し込み後の各種手続き (ご参考)

協賛お申し込み時期とご対応表			
協賛お申し込み時期	間に合う印刷物, ご対応等	対象となる協賛の種類	
協賛申込期間 (8月25日まで)	3月25日頃まで	募集要項に御社名を記載	産学連携協賛, 特別協賛, 一般協賛
	6月10日頃まで	予選審査 (審査は権利であって義務ではありません)	産学連携協賛, 特別協賛
	7月20日頃まで	大会リーフレットに御社名を記載 (8月中旬に各高専に発送)	産学連携協賛, 特別協賛, 一般協賛
	8月12日頃まで	本選実施要綱に御社名を記載 (8月中旬に各高専に発送)	産学連携協賛, 特別協賛, 一般協賛
	8月25日頃まで※1	大会パンフレットに御社広告等掲載 (本選会場にて全員に配布)	産学連携協賛, 特別協賛, 一般協賛, 広告協賛
※1 広告等の原稿を8月末までにご提出頂く必要がございます。			
協賛お申し込み後の各種手続き			
協賛申込サイト (各案内はHPをご覧ください)	協賛お申し込みから6月10日頃まで	予選審査実施ご希望アンケート (審査は権利であって義務ではありません。予選審査をしない場合でも本選審査, 企業賞審査は可能です)	産学連携協賛, 特別協賛
	協賛お申し込みから8月25日頃まで	本選審査実施ご希望アンケート (審査は権利であって義務ではありません。本選審査をしない場合でも企業賞審査は可能です)	産学連携協賛, 特別協賛
		バーチャルイベント会場への企業ブース設置のご希望アンケート (画像や動画・リンクの設定等は大会直前まで随時行えます)	産学連携協賛, 特別協賛
		公式HPからリンクする御社パナーのアップロード (掲載は8月末～となります)	産学連携協賛, 特別協賛, 一般協賛
		企業賞授与のご希望アンケート (企業賞は自由にチームを選定して頂き, 表彰式で授与して頂くことができます。楯はこちらで用意いたします。副賞をご準備ください。企業賞も権利であって義務ではありませんが, 表彰式の場合は是非御社をアピールして頂ければ幸いです)	産学連携協賛, 特別協賛※2
	大会パンフレット (作品集) 御社広告原稿のアップロード	産学連携協賛, 特別協賛, 一般協賛, 広告協賛, メディア協賛	
※2 産学連携協賛 (単年度200万) の他, 5年以上連続の特別協賛, 10年間で700万以上の協賛を頂いた場合。但し第31回大会は協賛を集めませんでしたので期間にはカウントいたしません。第32回大会は協賛金が半額となっていますが, 正規の協賛金額としてカウントします。			